

たの思想 な介護詩



テーマ

【涙】

●選者・今月のテーマに寄せて

2月にはいよいよコロナクラスターが発生しました。幸い感染者の皆さん全員無事に復帰されましたが、感染したお泊まりのお婆さんの対応や、次々と感染者が増えて働けるスタッフがいなくなった地獄絵図の2週間でした。

ただそんななかでも「with」で呼びかけたら県内外からボランティアが助けに来てくれたり、家族さんやケアマネさんや地域の方たちも応援して助けてもらえたことが大きな財産にもなりました。周りに迷惑かけると死にたくありませんが、周りから助けてもらえると生きたくなるんだなと思いました。でも本当に辛過ぎて、コロナ対応中やそのあとしばらくはコロナの話をする、涙が溢れてきました。怖かったんだろうなあ。うちの奥さんは涙は出なかつたのですが、9歳の次男と生後8か月の三男が同時期にコロナになり、心労から10円ハゲができました。

政府にはしっかりと補償予算を確保して、速やかに介護施設に入金してあげてほしいです。ただでさえクラスターで大変なのに運営資金自体も回らなくなったら経営難に陥ってしまうからです。実際に今の制度のまま毎年クラスターが発生したら事業は続けられないと感じました。全国の介護現場でクラスターと闘っている介護職に尊敬と感謝とエールを送ります。

クラスター大変過ぎて涙こりや

【涙】小林敏志選

汗 涙 出るか出ないか ウンタイム

——ライラック (60代・介護職)

選者評

涙がテーマだと、嬉し涙か悲し涙を想像するのに、汗と涙と便を連想させて出るか出ないかをかけた高度な介護職ならではの詩だと思えます。夏のトイレ介助は暑いですからね。便秘の出る前なんて涙目になりますもんね。いやーお上手。参りました。



敗戦日ふすわしいのは涙そうそう

涙出てだんだん悲しくなります

繋しげし爺は涙ホロリに撃沈す

とっておき女の奥の手涙とか

——微女 (70代・看護師)

老いは濃き幼なは薄い涙かな

——微女 (70代・看護師)

見守りも涙浮かべてリハ三昧

——微女 (70代・看護師)

終の場で 会えぬ涙は 流させぬ

——微女 (70代・看護師)

入所時に かわす涙を 継ぐ役目

——微女 (70代・看護師)

——微女 (70代・看護師)

——藤脇 聡 (40代・医師)

——藤脇 聡 (40代・医師)





「フリー部門」小林敏志選

「ハア死にて」

息も絶え絶え

吐いたババ

—— できどりいむ (50代・介護職)

涙つてね 泣こうとしても 出ないのよ
よけたのに 人とぶつかって ああ涙
人生は 泣いて笑って 涙あり
泣くせみに かまたらされて 夏の日
我が生が 誰かの涙の 理由たり

—— ライラック (60代・介護職)
—— ライラック (60代・介護職)
—— ドドイツ (40代・介護職)
—— ドドイツ (40代・介護職)
—— 大西三等歌 (50代・介護職)

—— 臨終の 目から溢れ出る水分
—— 看取りの場 抜けて洗面所で拭う
—— 看取りの場 飾りじゃないのよ涙は アッハ〜ン!

—— おちよつ介 (50代・介護職)
—— おちよつ介 (50代・介護職)
—— おちよつ介 (50代・介護職)

その笑顔 想像するより マスク取ろう

—— 藤脇 聡 (40代・医師)

頼りたい 愛しのキミは 介護マン

—— ライラック (60代・介護職)

食べすぎだ 証拠隠滅 腹隠し

—— ライラック (60代・介護職)

健やかな 生活づくりに 笑顔あり

—— ライラック (60代・介護職)

ひまわりよ 青空に向け 立派だな

—— ドドイツ (40代・介護職)

マスク規制 かの国ですえ やめたのに

—— 大西三等歌 (50代・介護職)

病院で 何をされたか ババ瀕死

—— できどりいむ (50代・介護職)

退院後 3日で逝った ババあはれ

—— できどりいむ (50代・介護職)

選者評

死にたいとため息をつく婆様の姿や息も絶え絶えな最期の様子も浮かんできます。言葉とリズムがマッチして遊び心もあり音読が気持ちいい詩で好きです。



選者小林敏志さんがよくわかる「宅老所はいこんちよ」特集号



定価550円 (税込)

アンコールブリコ
特集：宅老所はいこんちよ



ご注文はブリコラージュ編集部へ
TEL : 03-5986-1777
FAX : 03-5986-1776
メール : web@nanasha.co.jp

